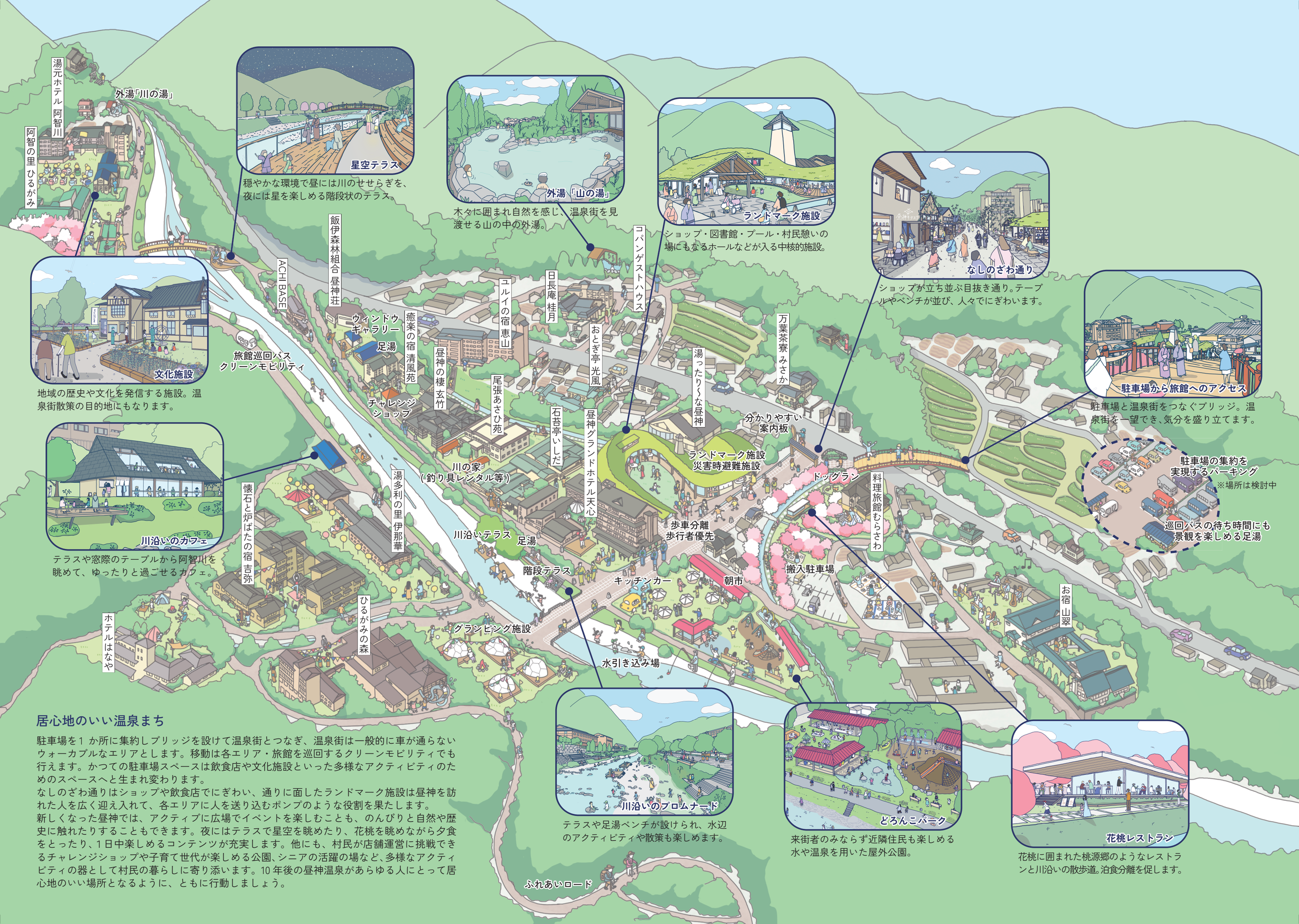

居心地のいい温泉まち

駐車場を1 か所に集約しブリッジを設けて温泉街とつなぎ、温泉街は一般的に車が通らないウォーカブルなエリアとします。移動は各エリア・旅館を巡回するクリーンモビリティでも行えます。かつての駐車場スペースは飲食店や文化施設といった多様なアクティビティのためのスペースへと生まれ変わります。

なしのざわ通りはショップや飲食店でにぎわい、通りに面したランドマーク施設は昼神を訪れた人を広く迎え入れて、各エリアに人を送り込むポンプのような役割を果たします。

新しくなった昼神では、アクティブに広場でイベントを楽しむことも、のんびりと自然や歴史に触れたりすることもできます。夜にはテラスで星空を眺めたり、花桃を眺めながら夕食をとったり、1日中楽しめるコンテンツが充実します。他にも、村民が店舗運営に挑戦できるチャレンジショップや子育て世代が楽しめる公園、シニアの活躍の場など、多様なアクティビティの器として村民の暮らしに寄り添います。10 年後の昼神温泉があらゆる人にとって居心地のいい場所となるように、ともに行動しましょう。